

シリーズ監修：林 寛之（福井県立病院救命救急センター）

特訓！レジの穴 アンチョコカード

いくら教科書どおりに病歴や身体所見、鑑別診断を覚えたからと言っても、そもそも主訴を取り違えていたり、患者さんの気分を害してしまったりと、診療技術以前の問題でつまずいていては、いい結果は得られません。月刊「レジデントノート」連載中の「特訓！レジの穴」では、ほかのレジデントが陥った落とし穴（通称「ドジの穴」）を通じて、実践的なTipsを解説していきます。ぜひ本誌の解説もご覧ください。

カード作成：林 実（福井県立病院救命救急センター）

レジの穴：アンチョコカード

11

◆ dispositionの決定

レジの穴筋トレメニュー

- dispositionは医学的のみならず社会的背景も考慮せよ
- 医学に100%はない。意思決定に患者も参加させよ
- 見逃すと恐い疾患を考慮した証拠を記録せよ！
- 医者の常識は患者の非常識…当たり前と思ってもきちんと説明
- よくある主訴のdispositionの雛型を作成し共有しよう
- disposition後の診療録記載が腕の見せ所
 - ・思考過程を含めた診断を説明し、記録を
 - ・その診断の経過の見込みを説明し、記録を
 - ・具体的なフォローアップについて説明し、記録を
 - ・患者が方針に同意したことを記録



disposition さようならと言ったけど、
その後の緻密な言い訳、
もとい診療録記載が腕の見せ所

◎羊土社

レジデントノート2010年3月号（Vol.11-No.12）

お好きなサイズに切り取ってご利用ください！